

2024 明けましておめでとうございます。『だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざして』今年もよろしくお願いいたします。



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを！

補聴器助成推進ニュース

2024.1.5 6号

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746



大阪の組合独自

金森丸人さん(組合員)

補聴器カット集

近々公開の府本部ホームページにアップします

〈第1弾 40カット〉



東京民報

聞こえの研究者・実践者

杉山光勇氏

⑤ 「聞こえの話」シリーズ



聞こえの話⑤

超党派で広がる質疑

「しんぶん赤旗デジタル版」で「補聴器」で検索すると180件もヒットします。この機能は調査活動には欠かせません。日曜版のデジタル化への期待も持っています。

国会では本年4月に塩川鉄也衆院議員、昨年は宮本徹衆院議員が質問。4年前には大門みきし前参院議員が兵庫県議会で共産党が提案した国への「高齢者補聴器補助に関する意見書」が全会派の賛成で議決されたことを紹介して質問しています。毎回一時間かけた質問を2年に一回くり返しているのが公明党の国重徹衆院議員(大阪5区選出)。「障害者基準に満たない難聴高齢者の実態把握」をくり返し要求、「難聴への対応に関する省内連絡会議」が毎年開かれるようになりました。

また、自民党は「難聴対策議員連盟」、公明党や立憲民主党も同「プロジェクトチーム」を作っています。

共産党都議団がシンポジウム

共産党都議団はくり返し取り上げ、2019年秋には「シンポジウム」を開催するなどの取り組みを受けて、都は補聴器購入補助に関する詳細の「事務連絡」を2020年1月に発出、制度が一気に広がり始めました(前号で詳細)。

さらに運動が広がれば、劇的な変化が期待できると思っています。

市町村議会では自民

杉山光勇 (日本共産党元台東区議)